

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学医学部附属病院

医療技術部臨床工学部門

研究責任者： 後藤 武

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 機械学習を用いた人工心肺使用下心臓手術後の急性腎障害発生予測モデルの開発

研究の目的

当院手術部で人工心肺を使用して心臓手術を受けられた患者さんのうち、術後急性腎障害を発生される患者さんは年間数名いらっしゃいます。そこで人工知能による機械学習を用いて、腎障害発生を予測するシステムを開発し、合併症予防や発生のメカニズムを解明することを目的とします。

研究実施期間 実施許可日 ～ 2027 年 12 月 31 日

対象となる方 2023 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に弘前大学医学部附属病院手術部で人工心肺下心臓手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢や身長、体重、既往歴、血液検査データ、人工心肺直後のデータなどを研究のために利用します。これらのデータから機械学習を用いて、人工心肺後の腎障害発生を予測するモデルを構築します。手術を受けられた期間で無作為にグループ分けを行い、その患者さんの術後腎障害発生を調査し、モデルの妥当性検証と精度向上を目指します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います（匿名化といいます）。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供

収集した情報は外部に提供致しません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。患者さん／その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当

該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院医療技術部臨床工学部門 後藤 武 TEL：0172-39-5456 E-mail：me-goto@hirosaki-u.ac.jp
--------------	--